

鬼北町観光親善大使「夢²大使」決定

◎観光親善大使「鬼北町夢²大使」委嘱式

8代目²夢大使の片岡さんと芝さん



11月6日、鬼北町役場町長室で、「観光親善大使鬼北町²夢大使（ゆめゆめたいし）の委嘱式」が行われました。

町内外で開催される鬼北町のイベントや公的行事において、鬼北町の魅力を発信することを目的とした、観光親善大使「鬼北町²夢大使」。この8代目として鬼北町在住の片岡真余さん、永野市²と、芝夏紀さん、小倉²が、このたび任命されました。

2人には今後、町内外で開催される各種イベントなどで、鬼北町の魅力をPRしていただきます。

写真右 芝 夏紀さん
写真左 片岡 真余さん

伊予と土佐をまたぐ鉄道旅に大満喫

◎予土線沿線探検スロ一列車

近永駅に降車した参加者たち



11月5日「愛・サン・サン」ンキ一列車が予土線沿線探検スロ一列車が運行されました。これは、JR四国発足30周年記念イベントとして開催されたもの。参加者たちは、予土線3兄弟と呼ばれている「しまんトロッコ」「海洋堂ホビートレイン」「鉄道ホビートレイン」が連結した列車に乗り、予土線沿線地域の景色や特産物を楽しんでいました。

近永駅では、北宇和高等学校ブラスバンド部の演奏で、乗客をお迎え。また、きじ肉入りメンチカツ、鬼灯ジャムや甘酒などが振る舞われ、参加者たちはほっと一息ついていました。

五穀豊穡を祈願し、舞い踊る

◎富母里神楽

「弓の舞」を披露する会員



11月11日、父野川地区の黄幡神社で富母里神楽の奉納が行われました。

富母里神楽保存会（会長・那須史憲）によって、毎年11月に行われる秋祭りの宵神楽として奉納されているこの神楽。今年も、「弓の舞」、「剣の舞」や、「恵比寿の舞」など、全12演目を奉納しました。

優雅で華麗な舞から、来場者の笑いを誘うユーモア溢れる舞まで、幅広い演目が魅力の富母里神楽。その独特の雰囲気引き寄せられ、地元の人だけでなく、町内外から多くの人が訪れました。一演目が終わるたびに、会場には盛大な拍手が沸き起こっていました。

それぞれの世界観で観客を魅了

◎第13回きほく芸能まつり

日吉音頭を披露する日吉輪の会



「第13回きほく芸能まつり」は11月11日、広見体育センターで開催されました。

まず、兵頭誠亀町長が「演者観客それぞれの形でこの芸能まつりを楽しみ、明日への活力にしてほしい」と挨拶。その後、鬼北文楽保存会による「伊達娘恋緋鹿子・お七火見櫓之段」の演目で幕を開けました。

今年には町内の芸能団体10団体が参加し、詩吟、民舞、カラオケやダンスなど、さまざまな演目を披露。それぞれに趣向を凝らした衣装や演出で、堂々と舞台に立つ演者たちの姿に、観客からは盛大な拍手が送られていました。